

令和6年度

第3回地域協議会定例会が開催されました

開催日：令和6年11月21日(木) 会場：宮崎西地区交流センター学習室



報告事項

《報告第5号》
まちづくり推進委員会事業への参加報告について

中武委員が「体験学習事業（デイキャンプ）」について、朴委員が「子どもと大人の交流会事業（うどん作り）」について、それぞれ報告しました。

体験学習事業

「デイキャンプへGO！わくわく川遊び＋安全な川遊び教室」

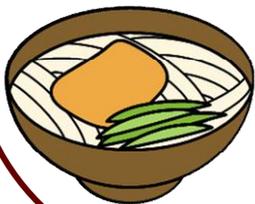
- ・参加者の満足度は親子共に非常に高く、事業の目的とする地域住民同士の交流やイベント参加の楽しさと期待が十分に感じ取れた。
- ・非常によい取り組みであるが、参加希望者が多く、申込みに対し断った人数がかなりあったと聴いている。日帰りキャンプ、川遊び等は個人では実行しにくいので、このようなイベントは人気が高く家族連れが参加すると思われる。まちづくり推進委員会も精一杯の努力をしており、回数を増やすのも難しいとは思いますが、何か工夫があった方がいいのではないかと思います。



子どもと大人の交流会事業

「うどんでつなぐ地域のきずな！」

- ・小学生の親子をはじめ、南九大の先生や学生、調理の手伝いをして下さったご高齢の方々、幼児を連れて参加した若い夫婦まで、色んな世代の参加者が一緒に触れ合いながら身近な食べ物について学べる有意義な時間となった。
- ・地域内の中学校や高校にもチラシを配布することで、より幅広い年代に参加してもらえらると思う。また参加した中高生にとってはキャリア教育にも繋がらると思う。
- ・15回目になる事業だけに夏休みの楽しいイベントとして中央西に根付いており、今回もうどんを麺から作るという珍しい経験ができた。



次回地域協議会定例会 日時：令和7年3月19日(水)19:00～ 場所：宮崎西地区交流センター

みやざき・中央西

みんなの

情報ひろば



「ID検索」

@tonline

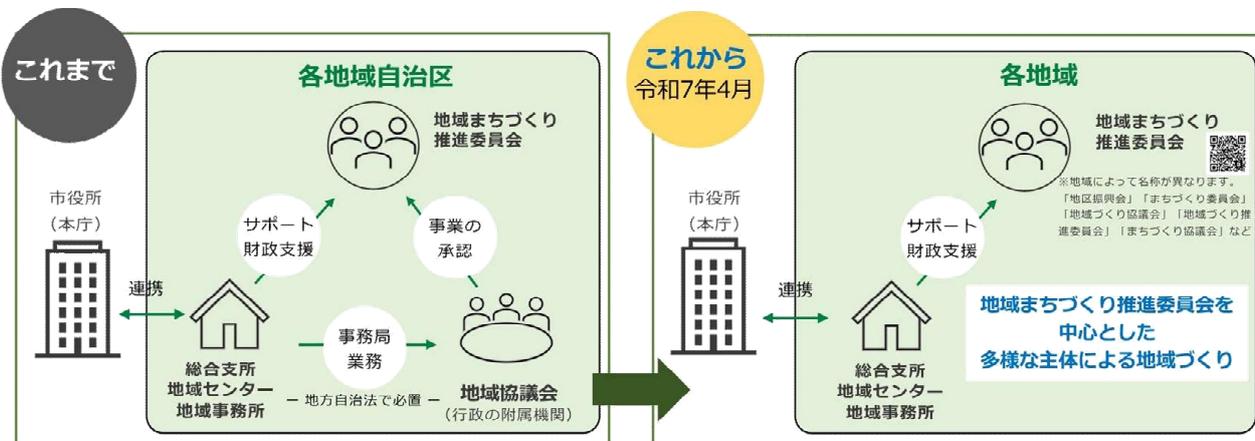


“友だち登録”をお願いします！

協議事項

《議案第5号》 多様な主体によるまちづくりの推進に向けて

宮崎市では、地域のまちづくりについて、平成18年に導入した地域自治区制度を見直し、令和7年4月からは、地域協議会を終了のうえ、地域まちづくり推進委員会を中心とした多様な主体による地域づくりを推進することとしています。



仕組みの変更に伴い、地域の実情に合った今後の取組等の検討が必要とされているため、令和7年8月21日（水）に開催した第2回地域協議会定例会において、5つの協議・検討事項について事務局が作成した「多様な主体によるまちづくりの推進について（素案）」をもとに審議した結果、（素案）のとおり承認されました。

その後、事務局で（素案）の概要版を作成し、地域の各種団体に説明しましたが、特にご意見等はありませんでしたので、地域コミュニティ課にも確認してもらったうえで、以下のとおり文言の一部を修正した「多様な主体によるまちづくりの推進に向けて（案）」を作成し、今回、あらためて審議した結果、（案）のとおり承認されました。

<多様な主体によるまちづくりの推進に向けて（案）>

1. 地域自治区制度の終了に伴う「中央西地域事務所」の役割
⇒令和7年度も、まちづくり推進委員会をはじめ自治会や学校、事業者等の意見や要望、情報等を地域事務所で整理し、地域団体や関係部局等への情報提供と調整を行います。
(将来的には再検討)
2. 中央西地域自治区地域協議会に替わる「協議機能」の設置（案）
⇒まちづくり推進委員会の事業承認については、まちづくり推進委員会の運営委員会に地域の団体の代表（一部）等が参加し、まちづくり推進委員会内部で行います。
また、地域の計画決定、市への意見要望、市の説明等については、地域団体が集まる「会議体」を設置します。
※令和7年度は、中央西地域事務所が会議を主催しますが、2～3年後に見直す予定です。
3. 「中央西まちづくりプラン」の取扱い（案）
⇒令和7年度以降、地域団体が集まる「会議体」へ継承します。
4. 「中央西まちづくり推進委員会」への多様な主体の参画
⇒「地域協議会」では「中央西まちづくり推進委員会」の事業を「承認」していましたが、令和7年度以降は、その制度がなくなるため、各団体の代表等もまちづくり推進委員会に参加しやすくなります。
5. 中央西まちづくり推進委員会からの提言・意見への対応
⇒他団体と同様に「まちづくり推進委員会」からも市に対して提言・意見できます。

※地域団体が集まる「会議体」については、今後、名称・メンバー・開催時期等について、検討します。